



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 19th May 2017

IDFプレスリリース

2017年5月19日、ブリュッセル発

酪農乳業界の薬剤耐性ガイダンス

—新しいIDFファクトシートの発行

国際酪農連盟IDFは、新しいファクトシート—酪農乳業界の薬剤耐性ガイダンスを発行し、薬剤耐性AMRに関する世界の酪農乳業の考え方を伝え、酪農生産者、獣医サービス、乳業会社、医薬品会社および行政に薬剤耐性の慎重な用法を推奨しました。

抗菌剤は、感染症、特に細菌に起因する感染症に人間や家畜の健康を維持するために用いられる医薬品です。薬剤耐性AMRとは、抗生剤によって治療する期間中であっても生残または成長する微生物の能力を指します。薬剤耐性は微生物の中に自然と備わっている場合や、突然変異または他の微生物から導入される場合があります。

新しいAMRが発生し、それが地球全体に拡散し、通常感染症を治療する能力を脅かす結果、人間や家畜の病気を長引かせたり、能力低下や死を招きます。抗菌剤の乱用や過剰な投与はこのプロセスを加速させます。AMRは地理的な境界や品種に束縛されません。人間、家畜または環境のいずれかに起因して耐性を獲得した細菌は或るものから他のものへ、ある国から他国へ拡散する可能性があります。AMRの進行を封じ込めるには世界の全ての国において公衆衛生、獣医学および環境の担当部局によるグローバルな戦略を実行することが求められます。

IDFは抗菌剤の使用を最低限に止め、適正な家畜の健康とアニマルウェルフェアを促しています。IDFは家畜の病気の治療のために、抗菌剤の有効性と便利性が継続するように、グローバルな酪農乳業界において抗菌剤を慎重かつ責任を持って使用する活動を推進しています。(IDFファクトシートは[こちら](#)から参照ください)

翻訳：JIDF 事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。